

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 I		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
和田 望	教員控室	kango	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	大学英語の入門として「使える英語」の修得を目指し、英語4技能(聞く、話す、読む、書く)を養い、英語の基礎学力と基本的なコミュニケーション能力の向上を図る。また、英語の学習に積極的に取り組む姿勢を養う。課題学習等を通して教科書の内容を理解し、その後の遠隔授業においてフィードバックを行い理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し、遠隔授業中も積極的な姿勢で学習に取り組むこと。学習において不明・不安な点があれば遠隔授業中に質問を受け付ける。				
教科書	Let's Learn English with Pop Hits! ポップスでスタート!基礎英語 /著Teruhiko Kadoyama, Ti mothy F Hawthorne /成美堂 /2020				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	日常会話に必要な語彙を身につける。		HSU(5),NS(2)		
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる。		HSU(5),NS(2)		
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる。		HSU(5),NS(2)		
④	学習した文法知識を用いて適切な英文を作成し、英文を読み解くことができる。		HSU(5),NS(2)		
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる。		HSU(5),NS(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス:学習方法、課題について説明	同時双方向型授業	教科書のP3とP118-123を読む	1	
2	Unit 1:Be動詞について学習する。	同時双方向型授業		1	
3	Unit 2:一般動詞(現在形)について学習する。	同時双方向型授業	【事前課題】 ① 単語・表現を調べる。	1	
4	Unit 3:一般動詞(過去形)について学習する	同時双方向型授業	② Vocabulary Preview、Grammar Point、Let's Listen、Let's Listen Again、Grammar、Let's Read、Challenge Yourself、Let's Reviewの問題を解く。	1	
5	Unit 4:進行形について学習する。	同時双方向型授業		1	
6	Unit 5:未来表現について学習する。	同時双方向型授業		1	
7	Unit 6:助動詞について学習する。	同時双方向型授業		1	
8	Unit 7:受動態について学習する。	同時双方向型授業	③ 問題の解答をオンラインフォームから提出する。	1	
9	Unit 8:現在完了形について学習する。	同時双方向型授業	<オンラインフォームに入力する前に、解答は必ず教科書やノートなどに書き込んでおくこと。>	1	
10	Unit 9:比較について学習する。	同時双方向型授業		1	
11	Unit 10:分詞について学習する。	同時双方向型授業	【復習】 ① 重要表現等をノートにまとめる。	1	
12	Unit 11:不定詞について学習する。	同時双方向型授業	② Let's Readのパスセージ、Let's Reviewの表現部分の音読練習をする。	1	
13	Unit 12:関係詞について学習する。	同時双方向型授業		1	
14	Unit 13:接続詞・前置詞について学習する。	同時双方向型授業		1	
15	Unit 14:動名詞について学習する。	同時双方向型授業		1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	30	10	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験を実施する。教科書で学習した語彙、文法項目、会話問題を元に問題を作成する。授業内で説明したことが試験内容の中心となるので、必ずノートを取って復習をすること。				試験の添削・返却。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話で使える単語を学習し、例文を作る。学期の最後に提出。				授業内でコメントする。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
成果発表	①	✓	教科書で学習した英語表現を暗記し、発表する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。学期の最後に提出。				Teams上でコメントする。
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	オンラインフォームに教科書の問題の解答を入力し提出する。オンライン採点の正解率に応じて評価するため、入力ミスがないよう注意を払うこと。毎週提出。 リンガポルタを使ってオンラインで英語学習をする。学習記録データの内容から評価する。毎週学習するユニットに合わせて継続的に学習すること。				授業内でコメント・解説する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	担当教員は映画、海外ドラマ、ドキュメンタリー、リアリティ番組等の字幕制作を担当する映像翻訳者として3年以上の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	映像翻訳者としてメディア作品に数多く触れる教員が、実生活で頻繁に使われる英語表現を紹介し、「使える」英語の修得を目指した講義を実施する。						
その他	Teamsを使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWifi環境を推奨する。言語はコミュニケーションのツールである。使わなければ意味がない。日本にいて英語を使う機会があまり多くないため、授業を「英語を使う貴重な機会」と捉えてほしい。Teams上で発音のペアワークもするので積極的な姿勢で参加すること。毎回、授業の最後に授業内容の確認テストも行う。						